

マス商事

升 杉夫社長

時に技術力の向上に取り、日系企業の進出も続いており組んでいる。国内外を問わずサービス力の向上なくして顧客の満足は得られない。新設したい」と話す。

製造装置商社・マス載、電子部品向けの実装機や基板検査機が堅調に推移した。地域的に

商事は18年10月からの19年度において車載、電子部品分野に向けた実装機の販売強化に取り組んでいる。海外営業体制を拡充し、今年1月にインドに拠点を開設する。

車載分野など実装機拡販

インドに拠点開設

海外営業体制を拡充

部品保管庫と実装機をつなぐ自動搬送ロボット（オムロン製）の扱いも開始するなど新規商材も広げている。

以前から本社（新横浜）に常設しているシールドルームを活用し、顧客を対象に実施してきたプライベートセミナーを、19年度も国内

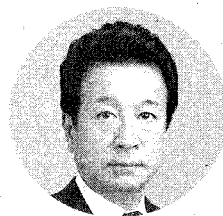
升杉夫社長は「18年度は国内、海外ともに車売上げが伸びた。車

には国内、中国、東南アジアとも順調で海外の各拠点も全て黒字だった。19年度は中国の拠点を開設する。グルガオンは、首都デリーから車で1時間足らずの近郊都市。デリーの衛星都市として急速な発展を遂げつつあり、

電機業界に絞って販

減速感が懸念されるが、着実に取り組んでいる」と述べる。

海外拠点のサービスマンを常時増員し、同



升 社長